

## &lt;消毒方法について&gt;

## 遊具等の消毒

	普段の取扱のめやす	消毒方法
ぬいぐるみ 布類	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に洗濯する。</li> <li>陽に干す(週1回程度)。</li> <li>汚れたら隨時洗濯する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘔吐物や排泄物で汚れたら、汚れを落とし、塩素系消毒薬の希釀液に十分浸し、水洗いする。</li> <li>色物や柄物には消毒用エタノールを使用する。</li> </ul> <p>※汚れがひどい場合には処分する。</p>
洗えるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に流水で洗い、陽に干す。</li> <li>乳児がなめるものは毎日洗う。</li> <li>乳児クラス:週1回程度</li> <li>幼児クラス:3か月に1回程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘔吐物や排泄物で汚れたものは、洗浄後に塩素系消毒薬の希釀液に浸し、陽に干す。</li> <li>色物や柄物には消毒用エタノールを使用する。</li> </ul>
洗えないもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に湯拭き又は陽に干す。</li> <li>乳児がなめるものは毎日拭く。</li> <li>乳児クラス:週1回程度</li> <li>幼児クラス:3か月に1回程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘔吐物や排泄物で汚れたら、汚れをよく拭き取り、塩素系消毒薬の希釀液で拭き取り、陽に干す。</li> </ul>
砂場	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂場に猫等が入らないようにする。</li> <li>動物の糞便・尿は速やかに除去する。</li> <li>砂場で遊んだ後はしっかりと手洗いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掘り起こして砂全体を陽に干す。</li> </ul>

※塩素系消毒薬の希釀液の作成方法については、本手引き 参考資料19 を参照。

## 手指の衛生管理

通常	<ul style="list-style-type: none"> <li>石けんを用いて流水でしっかりと手洗いする。</li> </ul>
下痢・感染症発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>石けんを用いて流水でしっかりと手洗いした後に、消毒用エタノール等を用いて消毒する。</li> <li>手指に塩素系消毒薬は適さない。</li> <li>嘔吐物や排泄物の処理時には、使い捨て手袋を使用する。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、清潔な個別タオル又はペーパータオルを使う。</li> <li>食事用のタオルとトイレ用のタオルを区別する。</li> <li>利便性の観点から、速乾性手指消毒液使用も考えられる。</li> <li>血液は使い捨て手袋を着用して処理をする。</li> </ul>

## &lt;消毒薬の管理、使用上の注意点&gt;

- 消毒薬は、感染症予防に効果があるが、使用方法を誤ると有害になることもある。
- 消毒薬の種類に合わせて、用途、希釀法等の正しい使用方法を守ることが重要である。
- ・消毒薬は子どもの手の届かないところに保管する。
- ・消毒薬は使用時に希釀し、毎日交換する。
- ・希釀するものについては、濃度、消毒時間を守り使用する。
- ・ペットボトルを利用して希釀するときは、特に誤飲に気を付ける。
- ・消毒の実施時は子どもを別室に移動させ、消毒を行う者はマスク及び手袋を付ける。
- ・使用時には換気を十分に行う。
- ・血液、嘔吐物、下痢便等を十分に取り除いてから、消毒を行う。
- 消毒薬を間違えて使用しないように、容器の色分け等の工夫が重要である。

(参照:保育所における感染症対策ガイドライン)